



自主防だより

発行日 平成30年 9月 1日
 発行者 国分寺北部校区
 自主防災組織連絡協議会
 連絡先 ☎087-874-5805
 (国分寺北部コミュニティセンター)

平成30年度

国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会総会

平成30年6月10日(日)、国分寺北部コミュニティセンターで平成30年度国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会の定期総会を開催しました。会員総数189名、出席総数110名(委任状含む)で、平成29年度の事業報告、収支決算及び平成30年度の事業計画、収支予算などについて報告・説明し、すべての議案について承認されました。また、今期は役員改選の年となり、新役員が承認されました。

総会後には、徳島県で発生した土砂災害についてまとめたDVD【豪雨災害に備える～平成16年台風10号災害より10年～】を視聴、参加者は熱心に見入り、いかに自分の命は自分で守っていくかを考えました。

【本年度の主な事業計画】

- ・国分寺北部校区「地区防災計画」の策定
- ・単位自治会での地域防災マップ説明会開催
- ・毎月第1月曜日に役員会、研修会開催
- ・コミュニティ協議会主催防災関連事業の援助
- ・コミュニティ協議会防災部会への参加
- ・大規模地震に備え家具等固定についての推進
- ・自主防だよりの発行(年2回)
- ・総合防災訓練(H30.9.30)の計画、実施
- ・地震等の自然災害に対応した避難所運営マニュアルの作成
- ・災害時避難所用敷毛布の寄付を募る



訓練レポート

土砂災害・全国防災訓練 H30.6.3 (日)



新居北ブロック住民を対象に、土砂災害警戒情報が発表され、高松市から避難に関する情報が発表されたとの想定のもと、住民の避難行動や安否確認等についての訓練及び情報伝達訓練を実施しました。

午前9時20分、小学校屋上及び新居東児童館に設置している屋外拡声子局より避難勧告が出たとの想定で、避難勧告等のサイレン及び放送が流れ、参加者はその放送を聞いて自宅より一時避難場所を経由し小学校体育館へ移動し、安否確認を行いました。

避難訓練後、香川県高松土木事務所職員より、土砂災害の最新情報・2次災害への注意喚起・地域の特徴の講演会が開催されました。



知っていますか？

【指定緊急避難場所と指定避難所の違い】

指定緊急避難場所は、津波、洪水等、災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する際の避難先として位置付けるものですが、指定避難所は、災害の危険性があり避難した住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設です。

○指定緊急避難場所(国土地理院のウェブ地図上で公開)
 災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所
 土砂災害、洪水、津波、地震等の災害種別ごとに指定

【指定緊急避難場所のイメージ】



土砂災害に対する指定緊急避難場所の例

対象とする災害に対し、安全な構造である堅牢な建築物



地震、大規模な火事等に対する指定緊急避難場所の例

対象とする災害の危険が及ばない学校のグラウンド・駐車場等

○指定避難所

災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設

【指定避難所のイメージ】



学校・体育館等の施設



公民館等の公共施設

大雨や台風時に自治体からの避難準備情報、避難勧告・避難指示が出たときは？

【首相官邸HPより抜粋】

いつ、どこに、どうやって避難したらいいの？

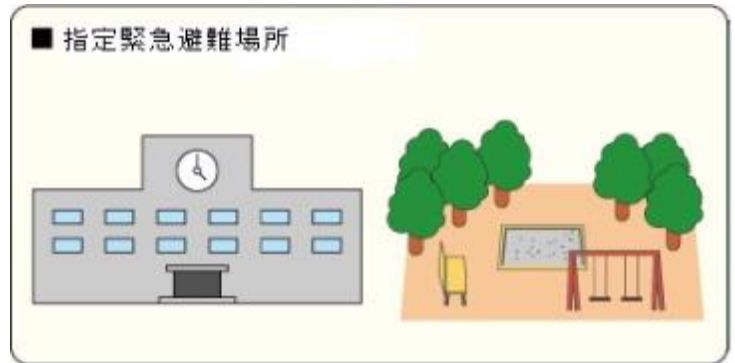
【いつ避難すればいいの？】

災害の発生が差し迫り避難が必要になった場合には、お住まいの自治体より、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）が発令されます。お知らせ方法は自治体によりですが、テレビ、ラジオ、市町村防災行政無線、緊急速報メール、ツイッター等のSNS、広報車・消防団による広報、電話・FAX・登録制メール、消防団・警察・自主防災組織・近隣住民等による声掛けなどが行われています。

【どこに避難したらいいの？】

発生する災害種別に対して立退き避難が必要な場合には、当該災害に対応した指定緊急避難場所へ避難します。ただし、既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、「近隣の安全な場所」への避難や、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動として、「屋内安全確保」を行います。

- ・「近隣の安全な場所」：指定緊急避難場所ではないが、近隣のより安全な場所・建物等
- ・「屋内安全確保」：その時点で居る建物内において、より安全な部屋等への移動



【日頃からハザードマップで危険箇所や避難場所をチェックしておきましょう】

早め早めの避難を行うために適宜適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

自然災害に対しては、自らの判断で避難行動をとることが原則です。お住まいの市町村は、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して避難勧告等を発令します。自宅や学校職場等にはそのような危険があるのか、お住まいの市町村が指定している避難場所はどこなのか等について、あらかじめ確認・認識しておき、いざという時の避難行動について考えておきましょう。

また、お役立ち情報「大雨や台風の気象情報に注意して早めに防災対策・避難行動を行いましょう」。

【避難勧告等が発令されたら、どうしたらいいの？】

避難勧告等が発令された場合には、率先して避難を始めてください。その行動が周囲の避難を促し、命を救うことにもなります。

- ・必ずしもこの順番で発令されるとは限らないのでご注意ください。
- ・以下の情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難準備・高齢者等避難開始

(避難勧告や避難指示(緊急)が発令することが予想される場合)

- いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)は避難を開始しましょう。

避難勧告

(災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合)

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。

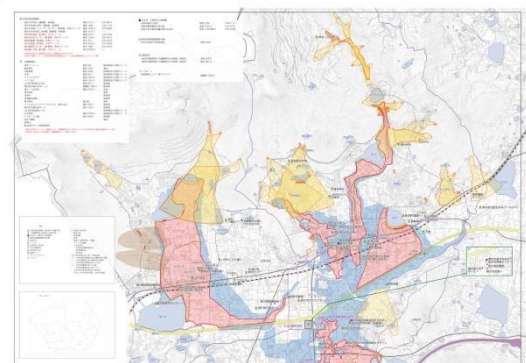
避難指示(緊急)

(災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合)

- まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及びような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

国分寺北部校区コミュニティ協議会が発行した「地域防災マップ」をみて、ご家庭で災害時に家族が慌てず行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

また、国分寺北部校区では被害想定に基づき地域住民で浸水危険性が無い区域まで安心して安全に避難誘導出来る体制を整備し、避難訓練を実施していますので、避難訓練(今年は9月30日(日))を実施する際は大勢の方のご参加をよろしくお願いいたします。



西日本豪雨

今回の大雨は、西日本から東日本にかけて活発な梅雨前線が長期間停滞したことで起きました。さらに、東シナ海で発達した雨雲の塊から、大量の水蒸気が西日本付近に流れ込んだことも重なり、各地で激しい雨が長く降り続き、記録的な大雨で、西日本の各地で土砂崩れなどによる被害が相次ぎ、つくづく自然の力の前では人間は無力だと思われました。

豪雨災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。

そんな中、わが自主防災会のメンバーが被災地でボランティアの活動を行いましたので、活動レポートを綴ります。

平成30年7月豪雨倉敷市真備町災害ボランティアに参加して

【岡 重範】

岡山県倉敷市真備町に、かがわ自主ぼう連絡協議会から7月15日、16日に災害ボランティアとして行きました。朝7時30分丸亀市川西コミュニティセンターを出発、瀬戸大橋～山陽道玉島IC経由で真備町へ。真備町に近づくと水害の光景が見られ、また、車窓からは小田川支流の真谷川が決壊し、下流側へ土砂等が流された状況が見えました。また下の写真からはトラックは浮いて流されたと思いました。

倉敷市真備支所に9時過ぎに到着。かがわ自主ぼう 岩崎会長から作業上の注意事項・熱中症対策等の指示を受けて、支所近くの被災住宅に徒歩で向かいました。

途中歩道は被災ごみでいっぱいでした。赤いごみは琴でしょうか？

最初のお宅の中に入ってびっくりしました。1階は天井まで濡れており、土壁が落ち早くも天井にカビが発生していました。また、時計を見たら5時9分に止まっていた。恐らく時計まで水位が来て止まったと思われます。

この日の作業は2階の荷物運び出しです。2階に上がると、ずぶ濡れになった本や、衣服等をポリ袋に入れ階段を手渡しで外に運び出しました。その中には家族の写真もあり、思い出があるのと思いました。押し入れ上部の濡れていない衣服等もありましたが、置いておく所も無いとのことで、家主の指示で全部廃棄しました。大変つらい判断で無かったですでしょうか。

最後に外回りの車庫に行きました、1200ccのホンダの大型バイクが水没状況でした。そこにあった工具類も全部廃棄しながらご主人の心境を察しました。

あいまを見て家族の方にどのタイミングで避難したのか質問したところ、大きい爆発音がありこのままでは火災の心配があると思い車で避難所に行ったそうです。また水害の想定はしてなかったそうです。

次のお宅は、外回りの泥出しです。細かい粒子で粘生の沈下物がスコップにつき、重たかったですが、土のう袋に入れて廃棄しました。午後4時30分、これで本日のボランティア作業終了です。私はバスに乗って一路丸亀に向かいました。



推定水位



=左の写真

2階です。被災水位は判定出来ませんでした。水浸しでおまけに泥まみれ。廃棄するのは、どれも重かった。また衣装ケースの中も水浸しでした。

2日目も7時30分に丸亀出発し、真備町に向かいました。昨日ほどの渋滞はありませんでした。

2日目のお宅では道路に出していた廃棄物を、井原鉄道井原線の高架下側道のごみ集積場まで軽トラで運びました。この中にはピアノをばらしてあり、ピアノ線を纏めた鉄の塊が重くて、6人でやっとトラックに乗せられました。そのあと瓦礫処分をしたり、家前の歩道にあった汚泥を土のう袋に詰め歩道に集積して作業完了。この日香川より持参した角スコは、ステンレス製で軽く汚泥もつかず作業の力が半分位と感じました。長期になれば道具の選定も重要と感じました。

次のお宅では、2階からの家具・衣類・書籍・絨毯・畳等の運び出し、特に6畳敷きの絨毯は畳一枚の重さ100キロ位と感じ運ぶのに4人でやっとでした。

それもここの主人が手鉤を4本用意していたので2階から階段を滑らせ外に出しました。

書籍等は土のう袋に入れて玄関先に集積し、後日、市が取に来てくれるとの事でした。家具等は土のう袋がなくなったので、バラバラの状態近くの公園の集積場まで一輪車で運び、廃棄しました。最後に畳6枚を玄関先に立てかけ本日の作業終了。午後4時30分でした。



＝右の写真
2階に上がって洋服
ダンス中の洋服が
濡れていました。
その水位とほぼ整合
していました。

痕跡より推定水深



訓練レポート

西大谷自治会避難訓練・防災訓練 H30.7.22 (日)

今年も昨年同様100名以上が参加、
「自治会員の絆」を実感しました。
西大谷自治会長さんからレポート文をいただきました。



【平井 勉】
危険な暑さの最中によくできたものだと、自治会員や準備作業に奔走した自治会有志、役員や関係各位のご支援・ご協力に深く感謝いたします。西大谷自治会の避難訓練は「住民の安否(所在)確認」に重点があります。事前に調査票を回覧し、訓練当日の家族数・訓練参加者数・自宅待機者数・外出者数を記入することになっています。この事前調査を基に訓練の準備が進められ、当日は一時避難所で行われる安否確認の基礎資料になります。

自治会員(1軒当たり1名)を対象に実施しています。家庭内での訓練に係る情報伝達は会員の責任で行われることになっています。

防災訓練 H30.9.30 (日) 今年も防災訓練を行います

1部 避難訓練

【地震発生想定】

室戸岬沖を震源とする南海トラフ大地震発生！
校区で最大震度6強を観測し、木造家屋が多数倒壊し、
また、大規模ため池決壊の恐れが高まる。

自宅から一時避難場所に集合
安否確認し小学校へ

2部 体験型訓練(午前9時30分～正午)

運動場にて

☆給水訓練 ☆水消火訓練

☆ロープワーク訓練

体育館及び教室等にて

☆AED訓練 ☆簡易問仕切り展示

☆起震車体験

☆防災グッズ展示

※雨天時には、運動場での訓練を中止し、教室にて

☆ロープワーク訓練

☆簡易担架作成



＝左の写真の上から

- ①真備支所でのボランティア受付、要請受付、資機材の貸出、水分補給のために飲料水をストックしています。
- ②ボランティアへのニーズ表・トイレ地図、その他資料と書かれています。
- ③冷えた飲み物(水・スポーツ飲料・麦茶)等色々あり、自由に取れ飲めます。
- ④ボランティア用に、貸出するために、シャベル・土のう袋・一輪車等の置き場。
- ⑤真備支所内の仮設トイレ10基。トイレは他の場所には見当たりませんでした。
- ⑥奥から男性用4基、手前に女性用6基。奥に斜めになった軽自動車が見える。中程の棚にトイレトーパーバ、ウオッシューパー等もありました。手洗い用の水槽も手前にあります。



【藤田 秀明】

私は、ぼんやりとインターネットで”YouTube”を見ていました。そこに、なぜか今回の西日本水害に寄せられた各国からのお見舞いのテロップが流れていました。「なんで知っとんかいの?」とは思いましたが、心からのお見舞いの数々でした。カナダ、インド、スリランカ、イギリス等々。私も何か出来ればいいが、と思っていた矢先に、国分寺町の自主防災会から応援要請が来ており、応募したところ、なんとか参加することが出来ました。個人的には微々たる応援でしたが、「香川から応援に来てくれた。」との言葉をいただき、さわやかな喜びが残りました。

編集後記

今年も大都市の機能を麻痺させた大阪北部地震、岡山、広島、愛媛などに甚大な被害をもたらした7月豪雨、そして記録的な猛暑と逆走した台風と災害をあげたらきりがありません。しかし、毎回被災のあとの調査でわかることは、その地域が災害に備えて準備ができていたところでは、被害が比較的少ないことです。愛媛県のある地域では住民全員が避難カードを作成しルール作りをしていたのでご近所同士が声を掛け合って避難し、2mの浸水にもかかわらず、一人も取り残されることがなかったそうです。さあ、国分寺町のみなさんもこれらの事例から学んで災害に強いまちづくりをしましょう。

9月30日には避難訓練・防災訓練が実施されます。ぜひ参加してください。